

## これまでの取り組み

## H28取り組みの全体像

### ◆背景◆

若年層の流出により、中山間地域の人口は減少し、高齢化が進行。そのため、地域が直面している課題や集落活動の状況、住民の思い等、地域の実情を的確に把握し、中山間対策に反映する必要性が生じたもの

### 平成23年度 集落実態調査の実施

<調査結果>

集落維持の危機

生活環境の悪化

産業の担い手不足と  
雇用の場の不足

厳しい生活実態にも関わらず、住民の思いは...

地域に愛着や誇りを感じ、  
今後も住み続けたい！

## 市町村や地域等と連携・協働しながら、中山間地域への 処方箋となる実効ある施策を全庁を挙げて総合的に推進

### 生活を守る

### 産業をつくる

### まち(地域)づくり

#### 重点テーマ1

#### 集落活動センターの推進

- 集落活動センターのロールモデルの確立・普及
- 集落活動センターの仕組みづくりの推進
- 集落活動センターの情報発信強化
- 高知ふるさと応援隊のサポート体制の整備

etc.



#### 重点テーマ2

#### 鳥獣被害対策

- 野生鳥獣に強い高知県づくりへの支援
- 鳥獣被害対策専門員の活動の強化
- 捕獲困難地域でのシカ捕獲の強化
- サル捕獲の強化
- 市町村へのきめ細かい支援の実施



etc.

### ひとづくり

#### 重点テーマ5

#### 中山間地域の未来を担う 人材の育成・確保

- ビジネスの基礎知識から応用・実践力を身につける研修の実施
- 中山間地域の新規創業者等への支援
- 都市部の人材と地域の求人ニーズのマッチング



#### 重点テーマ3

#### 移動手段の確保対策

- 地域の実情にあつたきめ細かな移動手段の導入・維持支援
- 路線バス・鉄軌道等の地域の生活に密着した移動手段の維持支援
- 広域的バス路線の維持・活性化支援



#### 重点テーマ4

#### 高齢者等が生活用品等を 容易に確保できる仕組みづくり

- 地域の実情にあつた買い物等支援策の導入・維持支援
- 農産物出荷代行や旅客運送等との複合サービスの検討支援



etc.

### しごと(産業)づくり

#### 重点テーマ6

#### 中山間の産業づくり

- 地域産業クラスターの創出
- 新たに農業や加工品づくりに意欲的に取り組むグループ等への人材育成・情報提供
- 県内量販店等でのテストマーケティング
- 地域アクションプランの実行支援
- 小さなビジネスの推進

etc.



### 平成24年度から

### 中山間対策を 抜本強化

更なる取り組みの加速化

6つの重点テーマを中心に  
全庁を挙げて取り組みを推進

- 集落活動センターの県内への普及・拡大(18カ所で開設)
- 拠点ビジネス等(14件)、小さなビジネス(61件)の取り組みを推進
- 鳥獣被害「0」を目指して育成した集落での成功事例の普及拡大(3年間(H27~H29)で500の集落支援)
- 地域の実情に合った移動手段の確保の取り組みを県内30市町村で実施

### 県内の現状

- 中山間地域では、人口減少や高齢化の進行による地域の担い手不足や産業の衰退など、依然として厳しい状況が進行

## 各分野の施策を融合

### 防災

南海トラフ地震  
対策の抜本強化

### 教育

教育大綱の推進

### 健康・福祉

日本一の  
健康長寿具構想  
の推進

### 生活

インフラ整備  
(道路・情報通信・  
生活環境等)  
の推進

### 産業

移住促進

観光

商工業

水産業

林業

農業

地産外商  
産業振興計画の推進

集落が維持されている 地域や産業の担い手がいる 働く場が確保されている 支え合いの仕組みができていく  
だれもが一定の収入を得ながら、安心して暮らし続けることができる中山間地域

重点テーマ 1

集落活動センターの推進

◆これまでの主な取り組み◆  
～着実な広がり～  
平成28年4月には、**22市町村、31箇所**の集落活動センターが開所見込み



地域外との交流、新たな収入の確保といった、取り組みの効果が徐々に発現

◆今後の方向性◆  
～取り組みの更なる普及・拡大へ～  
・重点的な事業支援による**ロールモデルの確立と普及**

(県内市町村の「まち・ひと・しごと総合戦略」における目標：約**70箇所**)

県内全域への広がりを加速化するためには、見本となる取り組みの確立が必要

重点テーマ 2

鳥獣被害対策

◆これまでの主な取り組み◆  
～野生鳥獣に強い集落づくり～  
平成24年度からの3年間で被害ゼロを目指したモデル**31集落**を支援。  
**大幅な被害軽減**を達成



モデル集落の取り組みを県内全域に波及！

◆今後の方向性◆  
～野生鳥獣に強い高知県づくり～  
鳥獣被害の半減を目指し、**3年間(H27～H29)**で**500集落**を支援

取り組みを県内全域に広げるためには、集落の合意形成促進が必要

## 平成28年度の主な取り組み

### ロールモデルの確立・普及により集落活動センターの取り組みをさらに拡大！

集落活動センターの取り組みを進めるための、初期投資費用や外部人材等の人件費・活動費、**経済活動の拡充に係る経費**を支援



集落活動センター推進事業費補助金 267,479千円

集落活動センターのネットワークづくりに向け、「集落活動センター連絡協議会」を設立

集落活動センター推進事業 5,945千円

### 地域の安全・安心をサポートするため、福祉分野と連携した取り組みを推進！

在宅生活の希望を叶える**高知型福祉の拠点**づくりに向け、**あったかふれあいセンター**の施設整備を含め、リハビリテーション専門職等の派遣による介護予防サービスの充実や認知症カフェの設置推進を図るなど機能を強化

あったかふれあいセンター施設整備事業費補助金 16,500千円

リハビリテーション専門職等の派遣による介護予防機能強化事業 3,480千円

あったかふれあいセンター事業費補助金 212,028千円



### 「野生鳥獣に強い高知県」をめざし、支援対策を強化！

被害「ゼロ」を達成したモデル集落の取り組みを県内全域に普及拡大するため、支援対策を強化



野生鳥獣に強い県づくり事業委託料 9,300千円

鳥獣被害対策専門員配置事業委託料 43,665千円

鳥獣被害防止総合対策交付金 347,090千円

### 捕獲対策のさらなる強化

シカ捕獲3万頭の達成に向け、捕獲対策を強化  
新たな手法によるサルの群れごと捕獲技術を開発・実証

サル用の大型の囲いなどで群れごとまとめて捕獲



指定管理鳥獣捕獲等事業 12,906千円

サル捕獲技術研究委託料 8,085千円

重点テーマ  
3

移動手段の確保対策

◆これまでの主な取り組み◆  
市町村と連携し、新たな移動手段の導入に向けた取り組みを支援



30市町村が移動手段の確保対策の取り組みを実施中

◆今後の方向性◆  
引き続き、地域の実情に合った移動手段の確保に取り組むとともに、取り組みの拡大に向け、人材育成を強化

取り組みを全市町村に広げるためには、地域公共交通に関する専門知識を有する人材が必要

## 平成28年度の主な取り組み

### 地域の実情に合った移動手段の確保と人材育成の強化！

きめ細やかな移動手段の導入に必要な調査や施設整備などを支援し、通院や買い物など地域住民の生活を支える移動手段を確保

中山間地域生活支援総合補助金（移動手段確保支援事業） 84,620千円

路線再編に必要な調査や、路線維持のために必要な施設整備などを支援し、地域の生活を支える路線バス、鉄軌道などの移動手段を維持・確保

地域の交通維持支援事業費補助金 33,871千円

⇒エリア別研修会の実施など市町村人材の育成を強化し、取り組み箇所を拡大！



重点テーマ  
4

高齢者等が生活用品等を容易に確保できる仕組みづくり

◆これまでの主な取り組み◆  
生活に必要な日用品や食料品を確保するための仕組みづくりや店舗の設置・維持に向けた取り組みを支援



18市町村で店舗整備や買い物代行と地域の見守り等の取り組みを実施中

◆今後の方向性◆  
生活用品の確保や商業機能の維持に取り組むとともに、取り組みの拡大に向け、貨客混載など、より効率的な仕組みの導入を検討

取り組みを強化していくためには、移動手段確保と合わせた取り組みが必要

### 中山間地域で生活用品等を確保するための取り組みを支援！

市町村等が進める移動販売や地域の店舗整備等、生活用品の確保のための取り組み等を支援

中山間地域生活支援総合補助金（生活用品の確保等支援事業） 6,883千円

⇒移動手段確保と合わせ、より効率的な仕組み（貨客混載等）の導入を検討！



### 地域商業の活性化に向けた取り組みを強化！

地域ごとの実態を踏まえ、地域の暮らしを支える商業機能の維持、発展に向けた取り組みを支援



こうち商業振興支援事業費補助金 9,000千円

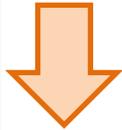


重点テーマ 5

中山間の未来を担う  
人材の育成・確保

◆これまでの主な取り組み◆

高知ふるさと応援隊の導入や移住促進により、県外からの人材確保の取り組みを推進



高知ふるさと応援隊142人の導入（H28.2.1時点）、移住者500組の達成（H27年度見込）

◆今後の方向性◆

各分野での**担い手育成**の取り組みをさらに強化、**移住促進策のバージョンアップ**により地域と経済を活性化

人口減少、高齢化が進む中山間地域では、各分野での担い手を育成・確保する取り組みのさらなる強化が必要

重点テーマ 6

中山間の産業づくり

◆これまでの主な取り組み◆

「産業成長戦略」による各分野の取り組みや、地域資源を活かした「地域アクションプラン」の取り組みを推進



長年にわたり減少傾向にあった各分野の産出額等が上昇傾向に転じる

◆今後の方向性◆

～第3期産業振興計画の推進～

「地産外商」の取り組みをさらに強化し、その流れをより力強く「**拡大再生産**」の好循環につなげる

中山間地域の主要産業である第一次産業のさらなる振興が必要

## 平成28年度の主な取り組み

### 人材の育成等の強化！

各分野の様々な担い手を育成

産業人材育成事業（土佐MBA・サテラ） 60,557千円

地域の頑張る人づくり事業費補助金 18,873千円

小規模林業総合支援事業 8,702千円



### 移住促進により、地域と経済を活性化！

移住促進策や都市部の人材と地域の求人ニーズのマッチングなどにより新たな担い手を確保

高知ふるさと応援隊推進事業 5,156千円

移住体験ツアー実施事業委託料 11,291千円

小規模起業促進事業委託料 6,000千円



### 地域産業クラスターの形成！

「第1次産業等を核とした地域産業クラスター」の形成に向けた取り組みを支援

産業振興推進総合支援事業費補助金 400,000千円

地域産業クラスター形成事業委託料 10,759千円

### 中山間農業複合経営拠点の整備を推進！

中山間地域の農業の競争力を高め、地域全体で支える複合経営拠点の整備を推進

集落営農・複合経営拠点支援事業 133,782千円

### 小さなビジネスの推進！

地域の住民が主体となって取り組む小さなビジネスを支援

地域づくり支援事業費補助金 70,000千円



■ 集落活動センターの取り組みの強化等により、誰もが愛着のある地域で暮らし続けられる地域をつくる  
■ 更なる周知と新たな地域の掘り起こしにより、集落活動センターの取り組みを県内全域に広げる

◎ 新たな取り組み地区の掘り起こし ◎ 経済事業の基盤強化・活動の充実化 ◎ センターに取組む人材の育成・確保

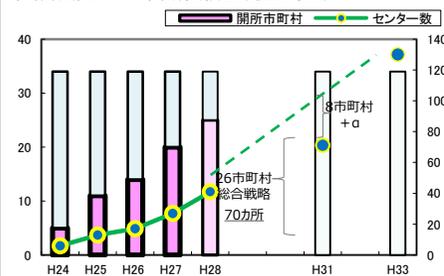
## これまでの成果

○ 集落活動センターは着実に広がりを見せている

年度	市町村数	センター数
H24	5町村	6
H25	11市町村	13
H26	14市町村	17
H27(見込)	20市町村	27+α
H28(見込)	25市町村	41

(H28は補助事業等実施地区)

## 集落活動センター開所実績と今後の予測



## 課題

○ 集落活動センターの立ち上げには、取り組もうとする

### 住民の思いへの一層の後押しが必要

・ 住民による地域ぐるみでの話し合いに基づく取り組みであり、立ち上げには時間を要する

### 立ち上げの手順例

- STEP 1  
まずは地域で話し合い
- STEP 2  
市町村とイメージを共有し  
地域の“思い”をひとつにする
- STEP 3  
地域の“思い”を“形”にする  
⇒ 集落活動センターを核とした仕組みづくりへ



○ 経済事業の規模が小さく、利潤が発生しにくいうえに、資本力も低いため、経営が不安定

### 集落活動センターで行われている経済事業の例

- ◆ 地域の農産物等の販売
- ◆ 体験交流活動
- ◆ 暮らしを支えるガソリンスタンドや生活店舗
- ◆ 住民の集いの場にもなる農家レストラン
- ◆ 体験交流施設の運営

○ 地域活動に従事できる人材が少ない

・ 中山間地域等での取り組みのため、人口も少なく、高齢者が中心 (リーダー不足、従事者の高齢化等)

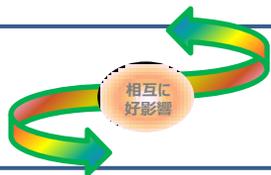
人口675人、世帯数316世帯、高齢化率51.5%

※H27開所(見込)27地区のうち、補助事業未導入の4地区を除く23地区の平均

## 方向性

市町村との  
更なる連携強化!

### I 重点的な事業支援による ロールモデルの確立



### II ロールモデルの普及 と県民との意識の共有



### III 経済活動拡充に向けた 人材の育成・確保

### IV 集落活動センターの ネットワークづくり

## H28年度の取り組み

( )内はH27年度予算額 ※2月補正含む

**拡** 集落活動センター推進事業費補助金 267,479千円 (238,000千円)  
集落活動センター推進事業費補助金を見直し  
・ 経済活動拡充支援事業の前倒し推進 (基盤が整備できれば、開所後3年未満でも事業実施を可能に)  
・ 人材導入活用事業の補助上限額見直し (多様な人材導入を支援するため補助額を拡充 1,000千円/人→1,250千円/人)

- 各部局発のロールモデルの重点支援
- 支援チームの充実、補助金の活用

**新** 集落活動センター推進フォーラムの開催 451千円  
集落活動センターの優良事例や活動状況等を広く県民に周知

- 集落活動センターパンフレットの作成、配布
- ポータルサイトの充実
- 広報番組(広報広聴課枠)の放映
- 地域本部による市町村への働きかけ強化



**拡** 経営管理力の強化  
・ 集落活動センター研修会の拡充 (経済活動拡充に向けた事業計画の作成、経営管理、資金調達等)

**拡** 集落活動センター推進アドバイザーの拡充  
・ 加工事業の実務者等による、より実務的・実践的な助言 (アドバイザー補助者の見直し)

○ 高知ふるさと応援隊研修等委託料  
集活センターを始めとする地域活動に取り組む高知ふるさと応援隊向けの研修会を実施 (初任者研修1回、スキルアップ研修1回、テーマ別研修3回開催し、隊員のスキルアップや情報交換の場を提供)

## 取り組みを下支え

**新** 集落活動センター連絡協議会の立ち上げ 57千円  
・ 集落活動センター運営組織、市町村、大学等を構成員とする連絡協議会を設立し、集落活動センター間の連携を強化

内容: 中山間地域活性化アドバイザーの講演、集落活動センターの事例発表、推進フォーラムの開催 (再掲)

- 市町村総合戦略の改訂への対応 等
- ・ 支援体制の強化

## 複合経営拠点の概要

- ◆中山間地域の農業を支える複合経営拠点により、中山間地域の農業の競争力が高められる。
- ・複合経営のエリアは、旧市町村単位を想定。
- ・スケールメリットを活かした運営となり、経営の効率化・安定化が図られる。

## 農業複合経営部門

### 次世代型施設園芸



中山間に適した  
農産物生産

畜産基地

庭先集荷



加工所

直販所

農家レスト  
ラン

担い手確保・育成

生産者

## 農地・管理部門

農地集積

機械共同利用



## 生活を守る活動

生活支援サービス

安全・安心サポート

健康づくり活動

防災活動

複合経営  
拠点

集落活動センター  
(法人) など

拠点を支える協議会

## 複合経営拠点の効果

- ◆次世代型施設園芸 ⇒ 収益の向上、『雇用創出』
- ◆加工所、直販所等 ⇒ 『農村女性が活躍できる場』『都市住民との出会い場』の創出
- ◆庭先集荷 ⇒ 高齢農家の生きがいづくりや見守りといった『農業福祉』の役割

平成27年度に4町村で取り組み開始(土佐町、大豊町、本山町、三原村)

## 複合経営拠点を県内に拡大

### 複合経営拠点拡大に向けた取り組み

- ◆複合経営拠点の周知 : 県内市町村 J A への周知活動
- ◆構想づくり : 地域に即した複合経営拠点の構想づくり
- ◆事業計画の策定 : 法人設立合意のための事業計画
- ◆人材確保・育成 : 拠点を運営するスキルを持った人材や新たな雇用の確保・育成  
農業用機械の導入、施設整備

対策①

対策②

対策③

## 28年度の取り組み

推進  
手順

働きかけ

構想づくり

事業計画策定

合意形成

法人設立

準備

実施

対策① : 周知の徹底、構想づくり支援

対策② : 事業計画策定の支援

対策③ : 人材確保・育成、農業用機械・施設整備等への支援

周知  
複合経営拠点の

複合経営拠点推進セミナー  
(4カ所で開催)

拠点構想作成  
(市町村・J A)

事業計画策定  
(市町村・J A)

※コンサルの活用  
(市場調査等)

組織内  
合意

法人  
設立

運営する人材の確保・育成  
従業員の確保・育成

事業実施

農業用機械の導入・施設整備

市町村への周知

構想づくりのセミナー開催

事業計画へのアドバイス

人材確保・育成先の紹介、各種補助事業紹介、専門家派遣等

地域農業推進課、農業振興センター、地域本部

協議会 (市町村、JA、農業振興センター、地域本部)

運営委員会(市町村、JA、農業振興センター、地域本部 ※実務担当者で構成)